

鴨川市男女共同参画推進審議会 平成25年度 第1回会議

次 第

日時：平成25年7月9日（火）

午後1時30分から

場所：鴨川市役所7階会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- （1）男女共同参画セミナーの開催について
- （2）男女共同参画週間における周知啓発活動の結果報告について
- （3）その他

4 閉 会

[配布資料]

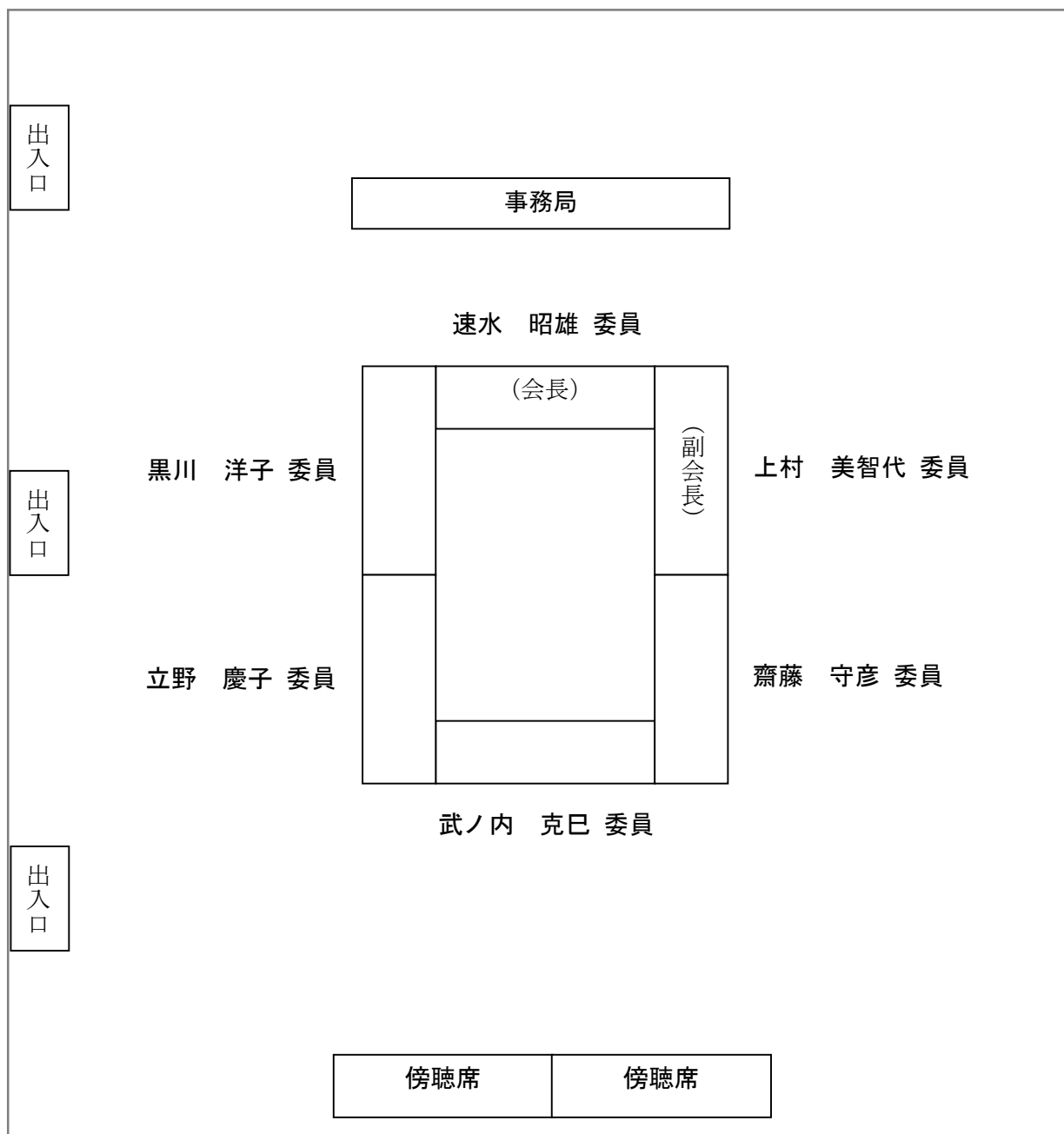
- ・ 次第
- ・ 席次表
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料8 男女共同参画セミナーの開催について
- ・ 資料9 男女共同参画週間における周知啓発活動の結果報告について
- ・ 鴨川市男女共同参画推進審議会平成24年度第2回会議 会議録

鴨川市男女共同参画推進審議会 平成 25 年度 第 1 回会議 席次表

日時：平成 25 年 7 月 9 日 (火)

午後 1 時 30 分から

場所：市役所 7 階会議室



鴨川市男女共同参画推進審議会 平成 25 年度第 1 回会議 出席者名簿

日時：平成25年 7 月 9 日（火）

午後 1 時30分から

場所：市役所 7 階会議室

1 委 員

氏 名	備 考
上村 美智代	
黒川 洋子	
齋藤 守彦	
武ノ内 克巳	
立野 慶子	
速水 昭雄	

【欠 席 委 員】

氏 名	備 考
永井 佳美	
長谷川 裕一	

（アイウエオ順・敬称略）

2 事務局

氏 名	所属・職	備 考
杉田 至	鴨川市企画政策課 課長	
藤代 公貴	鴨川市企画政策課 政策推進係 係長	
鈴木 身和子	鴨川市企画政策課 政策推進係 副主査	

男女共同参画セミナーの開催について



鴨川市 企画政策課
平成 25 年 7 月

1 男女共同参画セミナーについて

(1) 趣旨

男女共同参画に関するセミナーについては本市内での開催事例がなく、今回が初めての試みとなる。

開催に当たっては、千葉県知事が委嘱している県男女共同参画地域推進員（南房総地域）及び同推進員のコーディネート役を担う県男女共同参画センターと本市の3団体での共同主催を予定しており、本市男女共同参画計画上の位置付けとしては、重点的に実施すべきものとしてピックアップされた「焦点事業」のひとつである「男女共同参画に関するセミナー等の開催」に該当するものとなる。

(2) 千葉県男女共同参画地域推進員（南房総地域）の事業について

1) 概要

地域推進員は、地域の特性を踏まえた男女共同参画を効果的に推進することを目的として千葉県知事が委嘱しており、平成25年4月25日現在で69名。

委嘱を受けた推進員は、県内を7つに区分した地域毎にグループとして活動しており、各グループにおいて、男女共同参画に関するセミナー等を開催している。

2) 地域割（グループ割）

千葉、葛南、東葛飾、北総、海匝・山武、東上総、南房総の7区分

※本市を含む南房総地域は、君津地域（袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市）と安房地域（館山市・南房総市・鋸南町・鴨川市）の7市1町で構成されており、推進員は本市と南房総市を除く5市1町の12名

3) 男女共同参画推進員（南房総地域）の実施事業について

例年、君津地域と安房地域のそれぞれの地域で各1回以上のセミナーを開催する形式が多く、本年度の本市開催分は、実施計画に基づく事業として、このうちの安房地域における開催枠を確保したものとなる。

2 セミナー開催に係るこれまでの経過について

平成24年12月21日(金)	地域推進員会議 ⇒本市を会場としたセミナーの開催が決定
平成25年3月13日(水)	鴨川市男女共同参画推進審議会 ⇒セミナーのテーマ設定について、事務局一任とされた
5月17日(金)	地域推進員会議 ⇒テーマ設定を「防災」又は「子育て」のいずれかとし、決定は本市一任とされた(会議後、市男女共同参画推進審議会での意見も踏まえ、「防災」に決定)
7月5日(金)	地域推進員会議 ⇒テーマについて、本市が提案した「男女（みんな）で考える防災対策」とすることで決定。

3 開催予定の概要

(1) 開催日時

平成 25 年 9 月 28 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時 20 分まで（予定）

(2) 会場

鴨川市役所 4 階大会議室

(3) テーマ

『男女（みんな）で考える防災対策』～女性の視点だから、気づくこと～

(4) 講師

国崎 信江（くにざき のぶえ）氏

危機管理アドバイザー・危機管理教育研究所代表

【略歴】横浜生まれ。外資系航空会社の機内通訳として勤務していたが、結婚を機に退職。専業主婦となったが、1997年の阪神淡路大震災による巨大地震がもたらす被害に衝撃を受け、自然災害から小さな子どもを守るため、防災対策の研究を始める。女性として、母としての視点で家庭を守るための防災・防犯対策を提唱している。文部科学省の「地震調査研究推進本部政策委員」や「防災科学技術委員」などを務める。全国各地で講演活動を行い、TVやラジオへの出演、新聞・雑誌の執筆など、各メディアでも活躍中。

著書：「決定版！巨大地震から子どもを守る 50 の方法」（ブロンズ新社）、「地震の準備帖―時間軸でわかる心得と知恵」（NHK出版）他。

(5) 定員

100 名（申込先着順）

(6) 参加費

無料

(7) 託児サービス

生後 6 ヶ月以上から就学前まで（無料）

※開催 10 日前までに予約が必要

(8) 主催

千葉県男女共同参画地域推進員（南房総地域）

千葉県男女共同参画センター

鴨川市

(9) チラシ等の作成

地域推進員が周知に使用するチラシは、県において印刷

本市としても、チラシ等の予算を計上、独自に印刷し、更なる周知に努める。

- ・チラシ（A4 判）1,000 枚

- ・ポスター（A2 判）150 枚

みんな 講演会「男女で考える防災対策」 ～女性の視点だから、気づくこと～

大切な人を守る、防災力を身につけよう！



くにざき のぶえ
講師：国崎 信江さん
危機管理アドバイザー・危機管理教育研究所代表



©鴨川市2010

日時：平成25年9月28日(土)
13:30～15:20
(13:00 受付開始)

会場：鴨川市役所 4階大会議室
鴨川市横渚1450 TEL:04-7093-1111(代)

定員：100名 参加費無料(申込順)

【主催】 鴨川市
千葉県男女共同参画地域推進員(南房総地域)
千葉県男女共同参画センター



MAP

《申込み・問い合わせ先：電話》

お申込みは、お住まいの市町村まで！

館山市企画課	0470-22-3163
袖ヶ浦市市民活動支援課	0438-62-2111
木更津市企画課	0438-23-7485
君津市市民生活課	0439-56-1483
富津市企画政策課	0439-80-1223
鋸南町総務企画課	0470-55-4801
南房総市市民協働課	0470-33-1005
鴨川市企画政策課	04-7093-7828
千葉県男女共同参画センター	043-252-8036

FAX 043-252-8037

E-mail kenkyouse@mz.pref.chiba.jp

講師プロフィール

国崎 信江（くにざき のぶえ）さん

横浜生まれ。外資系航空会社の機内通訳として勤務していたが、結婚を機に退職。専業主婦となったが、1997年の阪神淡路大震災による巨大地震がもたらす被害に衝撃を受け、自然災害から小さな子どもを守るため、防災対策の研究を始める。女性として、母としての視点で家庭を守るための防災・防犯対策を提唱している。文部科学省の「地震調査研究推進本部政策委員」や「防災科学技術委員」などを務める。全国各地で講演活動を行い、TV やラジオへの出演、新聞・雑誌の執筆など、各メディアでも活躍中。著書「決定版！巨大地震から子どもを守る50の方法」（ブロンズ新社）、「地震の準備帖一時間軸でわかる心得と知恵」（NHK 出版）他。

<http://www.kunizakinobue.com/>

避難所で実際に起こっている問題や事件、避難者の心理状態など避難所の現実を知り、そして考える



災害後も自宅で生活が理想。
備蓄量はどのくらい必要？

キッチン周りや
インテリアに
防災の視点を



千葉県男女共同参画地域推進員とは

男女共同参画社会づくりの推進には、県民一人ひとりの意識改革が必要です。それには、地域における活動を促進していくことが重要であり、千葉県男女共同参画地域推進員制度が平成18年度に発足しました。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、講座・講演会の開催や広報紙の作成・配付などを通じ、地域における男女共同参画の推進を目指します。

地域推進員の任期は2年で県内を7つの地域に分け、それぞれの地域で積極的な活動を展開しています。

平成24年度館山市開催の講演会について

テーマ 「女性と防災」～家族、地域の防災対策5つのポイント～
今あなたにできることを考えよう！

日時 平成24年11月28日（水）
10時00分～12時00分

会場 館山市コミュニティーセンター第1集会室

講師 危機管理アドバイザー、危機管理教育研究所代表
国崎 信江さん

参加者 男性23名、女性64名、合計87名

農産物等販売

NPO法人ふれあいハウス／きょなん直売所／社会福祉法人アルムの森
（開店時間 9：00～9：50、12：00～13：00）

【講演概要】

阪神・淡路大震災をきっかけに家族を守りたいという気持ちで防災対策を行ってきた国崎信江さんに、自身が実施してきたことを5つのポイントから説明いただいた。

①地震に強い家に住む～暮らしと体を守るために～

耐震性のない家に住んでいたから下敷きとなって亡くなった。耐震性のある家にさえ住んでいて家具に押しつぶされない対策をしていれば助かった命がある。

次は自分の番だという意識を持ってこれまでの教訓を活かさなければならぬ。

私たちは社会の一員と

して暮らしている。その地域に住んでいる責任を一人ひとりもっていただいて、自分の防災意識が地域の防災力につながる運命共同体なんだという意識を是非持っていただきたい。



講師 国崎 信江さん

②地震の揺れから命を守る

寝る部屋に荷物を置かない。家の中ではキッチンが一番危険。室内にある危険を理解する。固定できるものは固定する。命を守る対策としては、背中を上に向けるダンゴムシのポーズをすぐにできるようにしてほしい。物が飛んできたりした時は手首を内側に腕をクロスしてグーで受けるようにする。赤ちゃんは地面に抱え込むことが大事。



ダンゴムシのポーズ

③インテリアに防災の視点を入れる

家にあるものはすべて動く。キッチンのカウンターやテーブルに物を置かず使うたびに出し、使い終わったらしまう。特に包丁といった刃物類は調理が終わったらすぐに洗ってしまう。冷蔵庫や食器棚は固定する。ガラス製は避ける。まず家具を減らす。次に配置を考える。寝る場所に倒れてこない、ガラスを背にして置かない、出入り口近くに置かない。その上で固定する。

④避難所に行かないことを目標にする備え

わが国の防災は避難所に行くことありきになっているが、理想は自宅でこれまでどおりの生活を継続することではないか。これからは避難所に行かない備えが大切。

子どもの連れ去りを専門とする窃盗集団がいる。子どもの臓器が目的。彼らは3秒あれば子どもを連れ去る技術を持っている。水や食料といった低レベルの防災



講演会風景

から次のステップ、災害時の身の安全、セキュリティを考える。

上手くいっている避難所は大抵男性のリーダーと女性のリーダーの2人をたてている。物資を配るのは女性が良いと思う。

備蓄量は3日分では足りないのでは是非10日分用意してもらいたい。平時の食事を災害時に同じように食べられることを目標に、普段食べているものを1ヶ月分多めにストック。

⑤災害から街を守るために地域住民としてできること

災害時に地域の支援を受けられなかったことによる早産で重度の障害を負ってしまう子どもは減らさなければならない。地域でどう妊婦を守るか、産後も大事。



館山市長 金丸 謙一さん

神戸市では地震の後に大火があったが、公園が街を救った。焼け止まったのは常緑広葉樹の立ち消え効果のおかげ。その中でもドングリとかの常緑広葉樹が耐火に効果がある。自分の家の庭に、街路に、避難先の小・中学校や公共施設に市民運動として植えていく意識をしていく。

【参加者の感想】

- ・ お話も面白く、また非常にためになった。もっと多くの人に聞いてもらえたら良かったのと思う。こんなにいい話なのにもったいない。震災から時間が経ち、危機意識がうすれつつある時に、このような話を聞くことができ、改めて日頃の準備、家の中の見直しをしなければと強く考えさせられた。先生の本を読んで勉強したいと思った。
- ・ とても勉強になりました。これから自分の家も出来ることを少しずつ取り組んでいこうと思いました。ありがとうございました。

物品販売風景

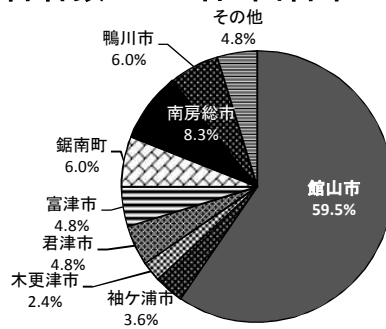


H24.11.28 女性と防災講演アンケート集計結果

参加者数：87名 回答者数：84名 回答率：96.5%

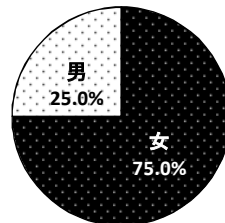
Q1 居住地

	人数	割合
館山市	50	59.5%
袖ヶ浦市	3	3.6%
木更津市	2	2.4%
君津市	4	4.8%
富津市	4	4.8%
鋸南町	5	6.0%
南房総市	7	8.3%
鴨川市	5	6.0%
その他	4	4.8%
合計	84	100%



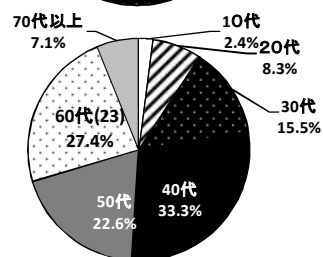
Q2 性別

	人数	割合
女	63	75.0%
男	21	25.0%
合計	84	100%



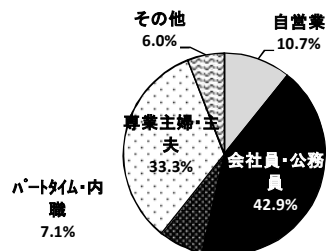
Q3 年代

	人数	割合
10代	2	2.4%
20代	7	8.3%
30代	13	15.5%
40代	28	33.3%
50代	19	22.6%
60代	23	27.4%
70代以上	6	7.1%
合計	84	100%



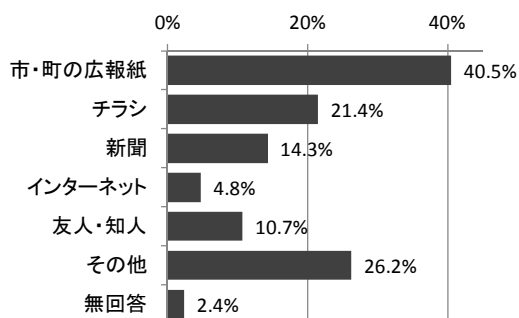
Q4 職業

	人数	割合
自営業	9	10.7%
会社員・公務員	36	42.9%
パートタイム・内職	6	7.1%
専業主婦・主夫	28	33.3%
学生	0	0.0%
その他	5	6.0%
合計	84	100.0%



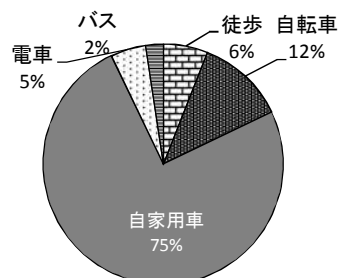
Q5 セミナーを知ったきっかけ

	人数	割合
市・町の広報紙	34	40.5%
チラシ	18	21.4%
新聞	12	14.3%
インターネット	4	4.8%
友人・知人	9	10.7%
その他	22	26.2%
無回答	2	2.4%



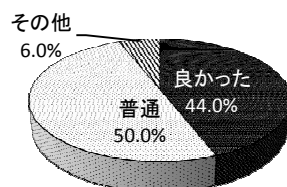
Q6 交通手段

	人数	割合
徒歩	5	6.0%
自転車	10	11.9%
自家用車	63	75.0%
電車	4	4.8%
バス	2	2.4%
合計	84	100.0%



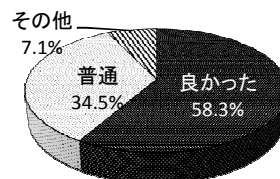
Q7 開催した曜日

	人数	割合
良かった	37	44.0%
普通	42	50.0%
その他	5	6.0%
合計	84	100.0%



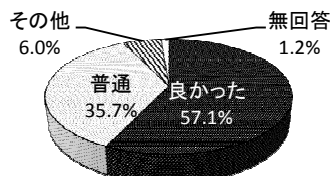
Q8 開催した時間帯

	人数	割合
良かった	49	58.3%
普通	29	34.5%
その他	6	7.1%
合計	84	100.0%



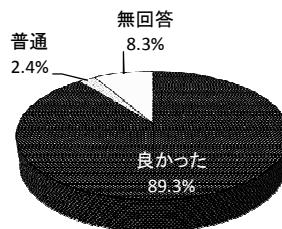
Q9 講演の長さ

	人数	割合
良かった	48	57.1%
普通	30	35.7%
その他	5	6.0%
無回答	1	1.2%
合計	84	100.0%



Q10 内容

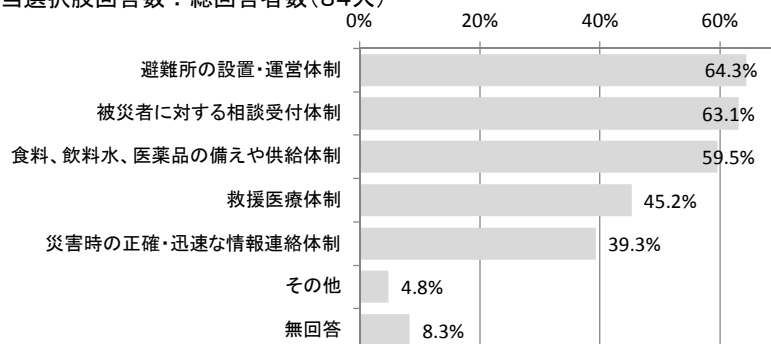
	人数	割合
良かった	75	89.3%
普通	2	2.4%
その他	0	0.0%
無回答	7	8.3%
合計	84	100.0%



Q11 防災・災害復興対策に、女性の視点で配慮して取り組む必要があると思うもの

※割合＝該当選択肢回答数÷総回答者数(84人)

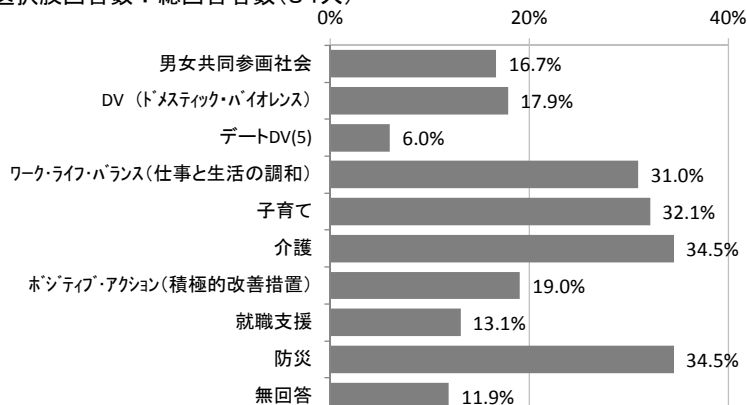
	人数	割合
避難所の設置・運営体制	54	64.3%
被災者に対する相談受付体制	53	63.1%
食料、飲料水、医薬品の備えや供給体制	50	59.5%
救援医療体制	38	45.2%
災害時の正確・迅速な情報連絡体制	33	39.3%
その他	4	4.8%
無回答	7	8.3%



Q12 今後取り上げて欲しいテーマ

※割合＝該当選択肢回答数÷総回答者数(84人)

	人数	割合
男女共同参画社会	14	16.7%
DV(ドメスティック・バイオレンス)	15	17.9%
デートDV(5)	5	6.0%
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	26	31.0%
子育て	27	32.1%
介護	29	34.5%
ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	16	19.0%
就職支援	11	13.1%
防災	29	34.5%
無回答	10	11.9%



男女共同参画週間における周知
啓発活動の結果報告について

鴨川市 企画政策課
平成 25 年 7 月

1 男女共同参画週間における周知啓発活動について

(1) 趣旨

男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について市民の理解を深めるために、国が定める「男女共同参画週間（毎年6月23日から29日までの1週間）」に合わせ、男女共同参画に係る鴨川市の取組を実施するもの。

(2) 取組内容とその結果

1) 市内商業施設での啓発活動

- ・実施主体 鴨川市企画政策課・健康推進課
- ・日 時 平成25年6月23日（日）午後1時30分から3時まで
- ・場 所 ベイシア鴨川店出入口（2か所）
イオン鴨川店出入口（1か所・神社側）
- ・概 要

男女共同参画に関する基本的な考え方とDV（ドメスティック・バイオレンス）に関する市の相談窓口の周知を図るため、関連するチラシと啓発グッズ（ミニタオル・ティッシュ）1,000セットを、上記の市内商業施設への来店者に対して配布した。

*活動の結果

市民に対してチラシ等を直接手渡せるため、効果の高い周知方法であることに加えて、啓発グッズをチラシと合わせて配布したことにより、高い確率で受け取ってもらうことができた。

ベイシア鴨川店



イオン鴨川店



2) 市主要施設での特設ブースの設置

- ・実施主体 鴨川市企画政策課
- ・期 間 平成 25 年 6 月 20 日（木）から 7 月 1 日（月）までの 12 日間
- ・設置施設 鴨川市役所本庁舎
鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）
天津小湊支所
子育て総合支援センター
鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊

・概 要

来訪者や利用者の目に留まるよう、市主要施設に特設ブースを設置し、男女共同参画社会の実現に向けた考え方や、DVの相談窓口などに関する 15 種類のチラシ・パンフレットを配架し、男女共同参画やDVに関する市民への周知及び啓発を図った。

＊活動の結果

各チラシ等の発行状況については、全体の配架数が 1,060 部に対し、発行数が 29 部であることから、男女共同参画に対する市民の関心は低い状況にあると考えられる。

※ 詳細については、別表「チラシ等配架及び配布状況一覧」を参照。

鴨川市役所本庁舎



鴨川市総合保健福祉会館



天津小湊支所



鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊



チラシ等配架及び配布状況一覧

(1) 施設別 配布部数 [部 (括弧内は構成割合)]

施設名	平成 25 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	差 (A) - (B)
市役所本庁舎	8 (27.6%)	11 (24.4%)	△ 3
総合保健福祉会館	7 (24.1%)	26 (57.8%)	△ 19
天津小湊支所	13 (44.8%)	7 (15.6%)	6
福祉総合相談センター・天津小湊	0 (0.0%)		0
子育て総合支援センター	1 (3.5%)	0 (0.0%)	1
出張所・市民 S C		1 (2.2%)	△ 1
計	29 (100.0%)	45 (100.0%)	△ 16

(2) 配架物の分野別 配布部数 [部 (括弧内は構成割合)]

配架物の関係分野	平成 25 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	差 (A) - (B)
男女共同参画全般	22 (75.9%)	25 (55.5%)	△ 3
ドメスティック・バイオレンス	1 (3.4%)	12 (26.7%)	△ 11
ワークライフ・バランス	6 (20.7%)	8 (17.8%)	△ 2
人身取引		0 (0.0%)	0
子育て	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0
計	29 (100.0%)	45 (100.0%)	△ 16

(3) 総括

まず、全体の配布部数については、昨年度が 45 部であったのに対して本年度は 29 部と 16 部の減少であり、本市内における男女共同参画についての関心は、依然として総じて低いものであることが推察できる。

なお、施設別に見ると、市役所本庁舎、総合保健福祉会館（ふれあいセンター）及び天津小湊支所の 3 施設での配布部数が全体の 96.5% を占め、本年 4 月に開設された福祉総合相談センター・天津小湊は 0 部、子育て総合支援センターでは 1 部となった。

また、配架物の分野別に見ると、県・市の計画や情報誌など、男女共同参画全般に関するものが 22 部・75.9% と昨年度に続いて最も関心が高く、次いで、ワークライフバランス（6 部・20.7%）、ドメスティック・バイオレンス（1 部・3.5%）、子育て（0 部）の順となった。